



阿賀野川エコミュージアムを目指す 流域再生フォーラム(第7回)

阿賀野川の清流(昭和戦前～戦中撮影/阿賀野市千唐仁～小浮間の岸边か?)
『おもかげ』(安田村国防婦人會大和班)掲載/小浮集落住民所蔵

流域再生・光と影の 宝ものがたり ～食・歴史・公害・次世代へ～

日時

2018年 **3/25** (日)
13:30～16:00 (開場13:00～)

場所

環境と人間のふれあい館
(新潟市北区前新田乙364-7)

定員

40名

料金

500円
(※試食代)

(※申込方法の詳細は裏面をご覧ください)

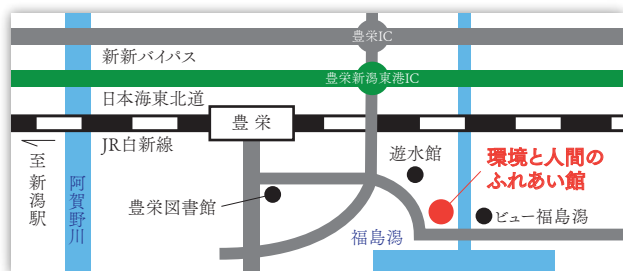


これまでFM事業で好評だった流域再生の4テーマは「食」「歴史」「公害」「次世代」。今回のイベントでは、これらのテーマを通じて、皆さんから「流域再生」を多面的に感じ取っていただきます。

FM事業とは？

正式名称「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(通称「阿賀野川えとこだプロジェクト」)。阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい流域づくり」を目指して始まったプロジェクト。

流域再生の4テーマを振り返る



主催 ● 新潟県

共催 ● 新潟市

後援 ● 五泉市・阿賀野市・阿賀町

企画・運営 ●



一般社団法人
あがのがわ環境学舎



歴史

新潟を旅立ったイザベラ・バード

～その行程をたどって、北区を再発見！

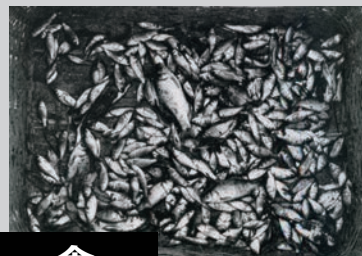
明治11年、バードは阿賀野川をくだって新潟町に一週間滞在した後、通船川や新発田川、新発田街道をたどって、現在の新潟市東区・北区を横断しました。

北宝隊代表の本間修一さんが、当時の貴重な写真や史料などにより、新潟町出発後のバードの東区・北区内の行程を追体験しながら、北区の歴史や現在の魅力もご紹介いたします。

「図説・東蒲原郡史 阿賀の里 下巻」(東蒲原郡史編さん委員会)

講師

北宝隊代表
本間修一氏



「写真集 水と土と農民」
(亀田郷土地改良区)

食

阿賀野川や福島潟の川魚などを味わう！

かつて流域で食されていた、今は貴重な川魚などの試食を行います。

※当日の魚種は、漁獲状況に左右されますので、ご了承ください。



山口冬人氏撮影

次世代

新潟水俣病の現地学習の現在(いま)

発表

筑波大学大学院卒
佐々木暢さん

新潟大学教育学部を卒業後、筑波大学大学院に進学して、新潟水俣病学習の現地調査を実施した佐々木さんが、公害学習の現状をレポートします。



公告

貴重な写真でたどる新潟水俣病のあらまし

昭和48年6月21日補償協定締結
(新潟医師会館ホール)新潟日報
(昭和48年6月21日)撮影写真

名前は知っていても、その経緯(あらまし)があまりに複雑なため、詳しく知られていない新潟水俣病。当時の貴重な写真を見ながら、新潟水俣病の経緯を分かりやすく振り返ります。



オプションプログラム

環境と人間のふれあい館内の常設展示案内

16:00～

フォーラム閉会後の16時以降、希望者の方に対して、環境と人間のふれあい館のガイドが常設展示コーナーをご案内いたします。同館の常設展示は2015年度にリニューアルされたばかりですので、ぜひご覧ください！



申込方法

申込期限 ● 2018年3月20日(火) 17時まで

- 参加申込書にご記入の上、FAX・メール・電話にて下記宛先までお申し込みください。
- 参加者を抽選にて決定し、当落結果は申し込まれた方全員に郵送します。なお、当落結果のお知らせが23日(金)までに届かなかった方はお問い合わせ願います。

参加申込書



阿賀野川エコミュージアムを目指す流域再生フォーラム(第7回)

※いただいた個人情報は、流域再生事業の実施を目的とした用途以外に使用することはありません。

フリガナ お名前			電話番号		
			※当日連絡が取れる携帯電話番号優先		
ご住所	〒			館内案内 希望に○	参加する 参加しない

お問合せ・お申込み先



一般社団法人
あがのかわ環境学舎

TEL&FAX 0250-68-5424 ✉ aganogawa@niigata.email.ne.jp